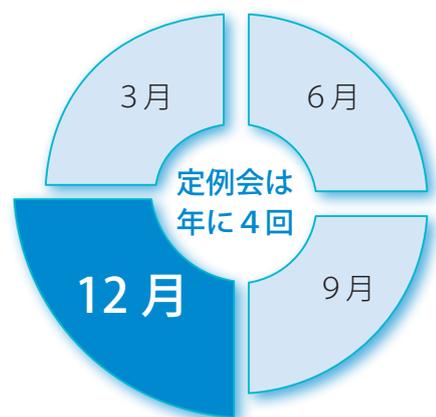




作品タイトル「初詣」

作者／高田 莉羅さん(青森県立むつ工業高等学校 1年生 CG・イラスト愛好会)



第28号
令和6年1月号

| | |
|-------------------|--------|
| 第258回(12月)定例会議案審議 | …… P 2 |
| 常任委員会活動報告 | …… P 3 |
| 一般質問 | …… P 5 |
| 任期の始まりに当たって | …… P 9 |
| 審議結果および賛否一覧 | …… P12 |
| お知らせ | |

第258回定例会

令和5年11月28日～12月21日

むつ市議会第258回定例会が去る11月28日から12月21日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会には、20議案1報告及び請願1件が上程され、審議の結果、それぞれ可決・同意・報告、採択されました。

議案審議での主な質疑

【議案第84号】むつ市部設置条例の一部を改正する条例

問 再編に当たりスマイル・トークリレーFLAT等での市民の意見はどのように反映された組織編成となるのか、また具体的な効果を見込んでいるのか。

答 高齢者の移動手段の確保や、公共交通の利便性を良くして欲しいとの要望が多数あったことから、企画政策部から政策推進部に名称を変更し、同部内に新たに交通政策課を設置する。また、今回の大きな変更点として、福祉部と健康づくり推進部を統合して健康福祉部とし、福祉政策課、高齢者福祉課及び障がい福祉課を総合福祉課と介護保険

課に再編し、複雑化、多様化する社会福祉環境に効果的、効率的に対応ができるように考えている。

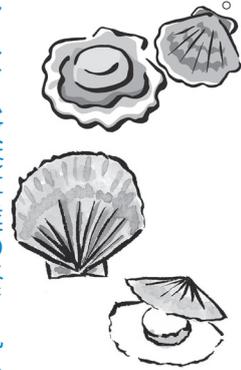
【議案第98号】令和5年度むつ市一般会計補正予算

(3億9306万1000円の増額補正)

問 冷凍ベビーホタテ消費拡大対策学校給食活用事業費の対象となる水産加工事業者数と事業費の詳細及び台湾プロモーション推進事業費を実施することとなった経緯について。

答 対象となる加工事業者は3社であり、学校給食に使用する数量については、むつ市、会津若松市、全国青年市長会の北海道・東北ブロックを合わせて15市よりご協力をいただき、合計8・2トンである。単価は、国から承認された数値を掛けて設定している。また、台湾プロモーション推進事業実施の経緯は、ALPS処理水の放出に伴う中国による日本の水産物の輸入禁止措置などにより、これまで中国向けに輸出されていた北海道産ホタテが国内販売に向けられ、供給先の減少等の影響を受けてい

る市内加工事業者を支援するため、新たな海外販路の開拓、拡大を行うこととしたものである。



問 システム改修事業の終了見込みについて。

答 いずれのシステム改修も令和6年3月の完了を予定しており、稼働時期については、住民情報システム改修事業は令和7年度、地方公共団体情報システム標準化事業は令和7年度末、コンビニ交付システム改修事業は令和7年度以降、人事給与システム更新事業並びに基幹税務システム改修事業は令和6年6月、補助対象事業の住民情報システム改修事業とコンビニ交付システム改修事業は、令和5年度中の改修が必須となっている。

問 障害福祉費における償還金利子及び割引料の内訳について。

答 非課税の取扱いとしていた相談支援事業に係る消費税について、当該事業が課税事業にあ

たる旨、国から通知があり、これを受け契約内容について確認したところ、当該事業については是正すべき事案があり、このことから課税事業認定に伴う税額を事業所へ支出するため、本来市が負担すべき消費税相当額417万6000円及び延滞税相当額32万4700円、合計450万7000円を支弁する費用とし計上した。

問 放課後児童健全育成事業における業務委託料の積算内訳及び選定の理由と保護者への通知、公表について。

答 主な業務委託料の内訳は支援員の人件費、一般管理費及び消耗品費等を見込んで積算している。また、事業者の選定に当たっては、むつ市放課後児童健全育成事業業務委託に係るプロポーザル審査委員会を設置し、提案内容を客観的かつ公平公正に審査するため、事業所名を匿名で審査している。審査委員会において決定した審査要領に基づき応募団体の能力・運営方針・児童の保育・管理運営体制・リスクマネジメント・提案金額・独自の子育て支援サービスの7項

目について審査委員ごとに採点し、合計点で1位を獲得した数の多い方を最優秀者として選定した。

問 鳥獣対策費92万円の補正額の詳細は、また、任用される場合、資格等は必要となるのか。

答 会計年度任用職員の給与改定に伴う報酬、職員手当の増額によるものである。専門員、管理人、野猿監視員については特段資格は必要ない。

問 令和4年度生活保護費国庫負担金返還金の詳細について。

答 当該返還金については令和4年度の生活保護費の財源として、概算で交付を受けた負担金について、清算により令和5年度で返還するものであり、返還金額は1億4821万円となっている。扶助費などの返還額は、日常生活を支えるために支給される生活扶助費が2651万7000円、医療を必要とする方に支給される医療扶助費が1億1332万9000円、介護サービス等を必要とする方に支給される介護扶助費が836万4000円となっている。

る。なお、減額となった主な理由は、令和4年度の実績として被保護者数の減少などにより、対象となる生活保護に係る費用が見込額を下回ったため、返還となった。

【議案第103号】令和5年度むつ市一般会計補正予算
(500万円の増額補正)

問 小学校・中学校冷房設備整備事業費について、繰越明許となった要因と、今後のスケジュールについて。

答 3度の入札を行ったが不落となり、3月末の完了が見込めなため繰り越したものである。また、今後のスケジュールは変わらず令和7年夏を目指しており、発注のタイミングは4月と6月末の設計終了後の2パターンを予定している。

問 ホタテガイ親貝確保緊急対策事業費について、親貝の確保が見込めるのか。

答 1月から3月頃にかけての親貝が産卵する前に販売すると、来年の稚貝が少なくなるため、なるべく産卵前には販売せず、産卵してから販売するための基金を造成するものである。

**会議の詳しいやりとりは
会議録をご覧ください！**

議会ホームページでは本会議や特別委員会などの会議録を公開していますので、過去の会議でのやりとりが知りたいときなどにご利用ください。

会議録のページは



こちらから↑

常任委員会

付託議案の主な質疑

【総務教育常任委員会】

○12月12日付託議案審査

付託された6議案、1請願について関係部長等の出席を求め審査を行い、議案第87号については反対討論があったが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定し、ほか5議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、1請願については採択すべきものと決定した。

り可決すべきものと決定し、1請願については採択すべきものと決定した。

問 令和2年度の組織改編との関連について。

答 今後の施策の進め方において、より目的を達成するための組織の在り方を検討する中での前向きな組織改編である。

問 会計年度職員への勤勉手当の支給について。

答 令和6年度から新たに勤勉手当が加算されて支給される。

問 今回の改正に伴う市長等の見解について。

答 一般職と同様に青森県に準じて行っているため、特に意見はない。

問 令和6年度から新たに勤勉手当が加算されて支給される。

議案第86号 むつ市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

問 今回の改正に伴う市長等の見解について。

答 一般職と同様に青森県に準じて行っているため、特に意見はない。

請願第1号 むつ市小中学校の学給給食費の無償化実施について

全会一致で願意は妥当であり、採択すべきものと決定した。

○所管事務調査

- ・学校におけるいじめ問題及び不登校児童・生徒への支援に係る市の現状について
- ・タブレットを活用したオンライン授業の取組状況等について

【産業建設常任委員会】

○12月12日付託議案審査

付託された6議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第90号 財産の取得について(除雪ドーザー)

問 納入後の稼働台数について。

答 購入予定の除雪ドーザーは、大湊地区市道浜通線で稼働するものであり、現在は、委託業者所有の除雪ドーザー2台と市貸付の除雪ドーザー1台の計3台で除雪を行っている。当該路線は主要幹線であることから通勤通学での需要が高く、効率的な除雪により速やかな交通確保が求められることから、委託業者と協議を行い、

1台増台することとした。

議案第94号 指定管理者の指定について(むつ市奥葉研修景公園外1施設)

問 施設の修繕及び備品購入の費用負担について。

答 修繕に係る10万円以下の案件は、指定管理者の負担となるが、金額及び内容に応じて指定管理者と協議し決定することとなる。

○所管事務調査

・ALPS処理水の海洋放出による水産業への影響と対応について

【民生福祉常任委員会】

○12月12日付託議案審査

付託された3議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議案第89号 むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 減額の手続きはどのように行うのか。

答 国民健康保険税の賦課処理前に手続きをした場合は減額後の納税通知書が送付され、

手続きが納付後になった場合は、還付により対応する。

議案第92号 指定管理者の指定について(むつ市中心身障害者ふれあいの家)

問 応募状況はどうか。

答 前回は2件であったが、今回は1件のみであった。

問 予定される自主事業は。

答 利用者やその家族が交流できるサロンの設置や、視線の動きのみで端末を操作できる視線入力装置「アイモット」を利用した事業等を行う。

問 施設の利用人数、行政の支援体制はどうか。

答 事前予約制で、1月当たり100名程度が利用しており、指定管理者と随時情報交換を行い、必要に応じ支援できる体制を整えている。

○所管事務調査

・高齢者の孤立問題について
・介護離職の現状と対策について
・介護保険施設の入所申込者の状況について

一般質問のページは



こちらから↑↑

議会ホームページでは、紹介できなかった質問内容や本会義での質問のようす(音声)を公開しています

次ページは
ここが聞きたい!

一般
質問

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。

各種の行政課題を取り上げて4日間にわたり16人の議員が活発な論戦を展開しました。



自民クラブ
井田 茂樹

問 高温の影響によるホタテ養殖の現状と今後の対応について。

答 むつ市、川内町、脇野沢村の3漁協とも稚貝と2年貝の半数程度がへい死し、来年出荷するホタテの激減は避けられない厳しい状況。漁業者の支援策として共済掛け金の助成のほか、県と市で、漁業者が資金融資を受ける際の利子補給を検討している。

問 民俗芸能や伝統文化を絶やさないための取組について。

答 市教育委員会は、後継者不足や若者の祭り離れといった課題解決を図り、地域活性化につなげるため、地域の祭りや伝統行事の継承に向けた条例を本年度内に制定し、2024年4月に施行する方針。今後、各団体から意見を聞いた上で具体的な内容をまとめ、次期定例市議会に提案する予定である。



無党派
工藤 祥子

問 ニホンザルの年間捕獲上限数は430頭だが、共存の取組について。

答 下北半島のサルは学術的にも貴重な天然記念物に指定されている。一方で人家等に侵入したり、農作物に被害を与える恐れのある個体については、保護管理計画に基づき捕獲を継続していく必要があると考えている。農作物被害の推移は平成30年度は70件・約62万円、令和2年度は48件・約58万円、令和4年度は28件・約28万円となっている。

問 除排雪対策として流雪溝等の新設を止め、GPS機能を導入した市民のメリットは。

答 市及び除排雪業者双方で担当路線の共有化等、業務の効率化、適正化が図られ、除雪漏れ等が早急に確認でき、円滑な市民対応が可能となった。12月15日より市民向けの除雪情報サイトを公開する事でサービス向上にも資する。



公明・自由
櫻田 秀夫

問 少子化・人口減少対策について。

答 むつ市では、むつ市総合経営計画後期基本計画に基づき「まち・ひと・しごと創生の推進」実現に向けて3項目を実施している。①安心して暮らせる健康で快適な生活環境の整備等の推進②若い世代を中心とした定住・移住の促進や結婚・出産・子育てまで切れ目のない支援③地域資源を活かした高付加価値商品の開発や地域産業の活性化による、安定的な雇用の確保・拡大。

問 公共交通（デマンド型乗り合いタクシー）について。

答 令和5年度は、市内タクシー事業者5社により運行実施中だが、川内地区の実証運行において課題がタクシー事業者の運転手不足等の問題により現行体制の維持が困難になり、令和6年度から市の直営運行と地元タクシー業者への委託運行を検討している。



陸奥未来
村中 浩明

問 いじめ、不登校の現状について。

答 令和4年度のいじめ認知件数は小学校64件、中学校26件の合計90件で、前年度と比較すると小学校で11件、中学校で21件の増加となる。いじめは全て解消している。令和4年度の不登校児童生徒数は小学校24人、中学校72人、合計96人で、前年度と比較すると、小学校で9人、中学校で8人、合計17人の増加となっている。今後も学校を支援しながら改善に努めていく。

問 市営斎場、ペット火葬も含めた今後の見通しについて。

答 令和4年度は949件の火葬を行っている。今後は各斎場の利用状況を確認しながら、市内全体の人体火葬の推移、大規模な修繕が必要となる時期を見定めて、ペット火葬も含め、市内4つのあり方について検討する。



陸奥未来
佐々木隆徳

問 今夏の高水温による、ホタテ稚貝の大量へい死への市の支援策は。

答 市の支援策として、ホタテガイ特定養殖共済掛金への助成を5%から30%助成へと増やし、さらに漁業団体及び当市町村において、来春産卵する親貝を確保するための基金造成を準備しているほか、漁業者が資金の融資を受ける際の利子補給を検討している。

問 組合員の減少等により、今後の漁協運営は大変厳しくなる事が見込まれ、市内3漁協の合併推進を図るべき。

答 令和2年12月に、むつ市・川内町・脇野沢村3漁協協議会が合併に関する検討会を開催したが、一漁協の意思に温度差があり、市としては各漁協の意思を尊重する事が必要であり、今後も機会を捉えて確認したい。



市誠クラブ
野中貴健

問 コンパクトシティを推進している中で、今後の旧町村部の姿は。

答 むつ市立地適正化計画を策定し、都市計画区域であるむつ地区及び大畑地区においては都市機能誘導区域及び居住誘導区域を設定し、暮らしやすいまちづくりを推進している。都市計画区域外である川内・脇野沢地区については、庁舎、学校、診療所、小売店などが集積する区域において、むつ市立地適正化計画における居住誘導区域と同等に、地域住民が暮らしやすいまちづくりに取り組んでいく。

問 むつ養護学校への障がい児の通学支援について。

答 県立むつ養護学校への通学手段を確保する主体は県教育委員会だが、通学環境の格差を解消し、学びを等しく受けられる環境を整備するため、要望を含め強く働きかけ、責任のある対応を促していく。



市誠クラブ
佐賀英生

問 老人福祉センターの改修について。

答 当該施設の利用機会は、令和2年度1万755人、令和3年度は1万775人、令和4年度は1万2045人であり、近年においても利用の多い施設となっている。

年数の経過による老朽化は避けられず、平成14年3月には施設の廃止も検討されたが、旧大畑町議会からの強い要望を受け、国の補助事業を活用し大規模な改修工事を行った。今年、築51年を迎え古さを否めない建物で「町内会長と市長のスマイル・トークリレー」でも改修の要望等なされているが、随時必要な修繕を行いつつ管理していく。

問 来さまい大畑桜ロードの木の根の隆起について。

答 歩道部分が隆起し危険な箇所が見受けられるので、県担当部局に対して改善を要望していく。



無党派
佐藤武

問 町内会の支援及び地域コミュニティの中心となる集会所等の増改築・修繕について。

答 市では町内会等が行う市民活動や活動拠点等の整備に要する経費の一部を補助し支援している。令和5年度は97町内会から総額377万6470円、自主事業実施は38町内会から72件36万円の申請を受けている。活動拠点等整備事業では、昨年度希望が10件で、そのうち今年度は4件、84万1394円を交付している。引き続き効果的な支援を検討していきたい。

問 障がい者の自立に向けた住居提供施策について。

答 むつ市内では、社会福祉協議会が居住支援法人に指定されていることから、協力して対応していきたい。空き家等の有効活用については今後も情報収集等に努め、研究していきたい。



陸奥未来
富岡 直哉

問 あおもり国スポ・障スポの開催における受入体制について。

答 当市実施競技に伴う宿泊者は、延べ1万2500人程度を想定しているが、会期を分けることで来場者の分散を図ることとしている。また、市内はもとより、近隣町村も含む広域配宿を計画しており、今後、配宿センターを設置・運営する青森県と連携し、宿泊施設の確保に努めていく。

問 下北地区統合校に関する市独自の検討委員会の進捗について。

答 これまでの2度の会議では、委員それぞれの立場から意見を伺い、課題の洗い出し等を行っている。市議会的一般質問でいただいた意見等についても、検討委員会にお伝えしており、青森県教育委員会が令和7年度に設置する下北地区統合校開設準備委員会へ地域の意見を届けていく。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 むつ市内タクシー業界の現状は。

答 現在、市内運行のタクシー事業者は合計7事業者、タクシー車両台数は大型車や普通車等合わせ合計78台、運転手数は93人となっている。働き方改革や運転手不足といった要因から、市内を運行するタクシー事業者の中で、深夜帯の時間を含めた24時間営業で運行している事業者は2事業者である。

問 ライドシェアが制定された場合、地域公共交通の利便性として検討の余地があると考えが。

答 今後、国内で、ライドシェアが制度化された場合は、既存の公共交通事業者との連携も含め、当市の交通事業に適した制度かどうか調査・研究してまいりたい。



市誠クラブ
東 健 而

問 ホタテ漁業者の生産の実態とALPS処理水の影響についてのご認識を伺う。

答 ホタテ生産については、市の経済を支える大きな産業であると認識している。

この大切な産業が、燃油・資材等の物価高騰、高水温によるへい死、ALPS処理水の海洋放出による風評被害の真っ只中にあることから、あらゆる策を総動員して守り未来に繋いでいく覚悟である。

問 ホタテの実態調査同行後の漁業者への救済対策について。

答 ホタテ貝のへい死は、ホタテ漁業者の収入を直撃することから、金銭負担軽減策が漁業者の支援に繋がると考えており、来年1月が更新時期であり、掛金支払いが発生する特定養殖共済の掛金の助成について、当初の5%から30%に増やすため、所要の経費を今定例会へお諮りしている所である。



市誠クラブ
佐藤 広政

問 給食費無償化についての市長の所見は。

答 学校給食法では、施設設備に要する経費や人件費、修繕費等以外の学校給食の実費は保護者負担であると規定しているが、市としても子育て支援と保護者の負担軽減のため、国や県の動向を見ながら、早期実施を目指して検討していく。

新年度当初予算の方針において『教育・子育て環境の充実』を最重点事項としており、優先度は高いものの、必要となる経費2億4000万円弱の捻出には事業スクラップをはじめ、今後のむつ市の未来を見据えた大きな決断が必要である。私自身、子どもたちの笑顔輝くむつ市のために全庁一丸となつて当初予算編成の過程の中で、議会での意見も踏まえ、前向き、かつ、実現に向けて取り組んでいく。



公明・自由
住吉 年広

問 一般廃棄物の過去5年間の排出量と種類別内訳の推移について。

答 総量は人口減少を背景に減っている傾向だが、1人1日当たりではほぼ横ばい。

21年度の1人1日当たりの排出量を比較すると、全国平均890グラムや青森平均1002グラムを上回り、県内40市町村別では33番目となっている。ごみ減量化に向けた先進事例などを参考にして、啓発活動醸成に取り組む。

問 子ども誰でも通園制度（仮称）について。

答 現在、国では、子ども誰でも通園制度に関する検討会において、本格実施を見据えた試行的事業のあり方について議論しており、今月中に実施方針の中間とりまとめを予定している。今後においては、これら国の動向を注視しながら検討を進めてまいりたいと考えている。



無会派
高橋 征志

問 「PTAの加入は自由」について。

答 PTAの入退会は自由である。一部の学校において保護者への説明が不足していたため、今後は任意加入であることの説明を丁寧に行っていくよう、学校へ周知を図る。保護者と同様、教職員についても任意加入であるとの見解である。PTAは任意団体であり、設置は義務ではない。

問 PTA非加入による児童生徒への不利益について。

答 PTAは児童生徒にとって、より良い環境づくりを目的とした団体である。会員、非会員により差をつけることは本来の理念から外れる行為である。したがって、学校教育や学校行事において、児童生徒が不利益を被ることはあつてはならない。卒業式における卒業記念品についても、児童生徒に差別や不利益があつてはならない。



無会派
杉浦 弘樹

問 インフルエンザワクチン接種費用助成の対象条件拡大について。

答 現在13歳未満の子供は2回接種が必要となっており、保護者の費用負担がより大きいことから、対象を小学6年生までとしているが、今後は子育て支援を拡充する観点から、対象者の拡大について検討してまいりたい。

問 マイナンバーカードを必要としないAGETHAの交付について。

答 乗車証利用者の本人確認と不正利用防止の観点から、顔写真付きの身分証明書が必要と考え、全ての年代の方が、本人と市の負担がなく取得できる公的身分証であるマイナンバーカードを活用し、本事業を実施している。今後は、ICTの先進事例等を調査・研究し、利用者と事業者の双方が負担の少ない実施方法を構築してまいりたい。



自民クラブ
中村 正志

問 自治体のマーケティング戦略について。

答 政策の決定において重要な要素の一つである市民の皆様とのニーズを把握することであり、これをマーケティングと捉えている。限られた人員と財源の中、選択と集中、より効率的な市政運営のため必要である。紙媒体や各種SNS、マスメディア等を複合的に活用し、戦略的な情報発信を積極的に行っていく。

問 GIGAスクール構想について。

答 ICTの活用により個別最適化された学びを提供することを目的に行っている。現在、全小中学校の校内LANの整備と全児童生徒への端末の配備が完了している。オンライン授業での活用やデジタル教材に取り組むなど、授業形態が大きく変化しており、質の高い学習へとつながってきている。

任期の始まりに当たっての

所信・抱負



前回臨時号での議員紹介に引き続き、今号では各議員の所信・抱負を紹介いたします。



無会派
高橋 征志

「PTAの加入は自由」です。PTAに入らない選択も個人の権利です。

自分たちの権利のために、私たち自らが思考し、声を上げ、行動すること。それがむつ市を良くすることにつながると思っています。

むつ市の未来をつくるのは私たち市民一人ひとりです。それを見誤ることなく活動していきたいと思っています。



無会派
杉浦 弘樹

1期目は、コロナ禍で活動が制限された4年間でありましたが、その中でも色々な意見や多様な価値観が尊重され、政策に反映されるむつ市であるよう活動をしてまいりました。2期目に向けては、これまで以上に、幅広い分野での政策提言や住民の声を議会に届ける活動をしていく所存でございますので、どうぞよろしくお願いたします。



無会派
佐藤 武

市議会議員2期目となりますが、市民の皆様への負託に応え、選挙で公約したことを実現するために全力を尽くしたいと思っています。市民の願いや思いを市政に届けることも大切にします。また、地方自治の二元代表制の一方の議会の役割として、市政に対する提案とチェック機能を十分果たせるような議会にしていきたいと考えています。



無会派
工藤 祥子

市民の身近な議員として市民の困っている事等の解決に努力したい。暮らしが大変な今日、防衛費増、社会保障費削減が予想されるなか、発言と提案をしていきたい。国策に翻弄された地域と言われるこの地で、むつ使用済み核燃料貯蔵施設、大型弾薬庫建設問題に市民と共に向き合って行きます。何よりむつ市民の安心と安全のために。



無会派
濱田 栄子

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられましたでしょうか。人口減少が進むなか、様々な施策が打ち出されておりますが、根本は地域経済の活性化と捉えております。森・里・海の地域資源を増やすことが重要と考えております。また、お一人おひとりに寄り添う政治も重要と考えます。



公明・自由
櫻田 秀夫

この度、むつ市議会選挙におきまして、初当選させて頂きました。子育て世代の一人として、次代を担う子どもたちが生き生きと育つ環境づくりとその子どもたちが「夢を実現出来るまち」を目指します。また、これまで社会の為に働いてこられた方々が、安心して暮らせる持続可能な「まちづくり」実現のために全力で組んでまいります。



公明・自由
住吉 年広

昨秋に、市議会議員の2期目に当選させていただきました。市民の皆様の声に真摯に耳をかたむけ、現在、抱えている人口減少や少子高齢化により地域社会の活力や魅力が低下するリスクが高まっているため、これらの課題を最優先に政策提言を行い、議員としての責任を果たしてまいります。市民の皆様が希望をもてるように全力で取り組みます。



公明・自由
白井 二郎

12月5日の新聞においらせ町が幸福ランキング東北1位、藤崎町が2位と民間調査の結果が掲載されました。私達の街も素晴らしいと思っています。論語の教えに「恕」という言葉があります。相手の身になって考え行動する深い人間愛との意味です。「笑顔輝く希望のまち」を進める為にも「恕」の精神を持ち市民と共に歩む4年間であり力を尽くしたいです。



陸奥未来
富岡 直哉

コロナ禍を経た現在において、私たちを取り巻く社会環境が大きく変化を迎えました。この転換点をむつ市としても時代を変えるチャンスと捉え、より良いまちづくりのため、二元代表制の一翼を担う議員として、また、広報広聴委員長としてもより一層開かれた議会を目指し、市民の皆様にとって身近な議会となるよう取り組んでまいります。



陸奥未来
村中 浩明

市民の皆様が安心・安全に暮らせるまち「むつ市」をより魅力的で、住みよくできるよう、取り組んでまいります。少子高齢化により人口減少が深刻な状況の中、地域の伝統と文化を守り、地域の様々な課題に取り組み、地域社会全体の発展のため、笑顔かがやく希望のまちづくりに全力で取り組んでまいります。



市誠クラブ
野中 貴健

2期目のスタート。高校生の通学費が家計を圧迫している状況を打破、障がいのある無関係のない共生社会のまちづくり、文化・スポーツ活動などを通じた多世代交流及び地域を越えた伝統芸能団体の交流の促進等々。いずれも市民の皆様から届いた宿題です。21名の同僚議員と力を合わせて、志が高く市民目線で突っ走ってまいります。



市誠クラブ
佐藤 広政

この度の改選にて、2期目の当選をさせて頂きました。負託いただきましたからには、市民の皆様にお約束した4つの取組を、しっかりと取り組み、市民の皆様が、安心安全で笑顔で暮らすことのできる新生むつ市のために、万里一空の精神で精進してまいります。貴方の想いを市政に届ける男をご指導よろしく申し上げます。



市誠クラブ
東 健而

議員になり16年、途中で下野と病気を経験、何回も議員を辞めようと思ったことが、だが幸運ながら再び議員となった。今まで、川内の家庭内の無線受信機の設置、小中一貫校の導入、上水道の近代化など多くの政策を提案実現した。議員は市民の負託に答える義務を負う。それを自覚し、市民への恩返しにこれからも愚直に頑張りたいと思う。



自民クラブ
中村 正志

4年の充電期間を経て議場に戻りました中村正志です。市民の「生きる」に寄り添うむつ市にするため、皆様の声を届けていきます。ただ問題を指摘するのではなく、解決の糸口を見つけて、その対策や解決策を提示していきます。現場に立ち実感し問題を把握し、解決策を市民と行政と共に考え実行していきます。正々堂々まっすぐに！



○ 自民クラブ
○ 井田 茂樹

先のむつ市議会議員選挙におきまして沢山の皆様からのご支持ご支援により当選させて頂きました事に深く感謝申し上げます。今後も初心を忘れず、感謝を忘れず、【市民の声を市政に届ける】【共に未来へ】を政治信念に情熱・判断力・決断力・行動力をもって、しっかりと市民の皆様の負託に応えるよう精進してまいります。



○ 自民クラブ
○ 浅利竹二郎

この度の選挙で、6期目当選を果たしました浅利竹二郎です。人口減少高齢化が進む社会では元気なお年寄りの存在が貴重です。宮下県知事44歳、山本むつ市長40歳、この若い力と高齢世代が力を合わせ、青森・むつ新時代を築こうではありませんか！私はこれまで皆様の期待に応えるべく、誠心誠意努めてきました。今後とも頑張ります。



○ 陸奥未来
○ 岡崎健吾

昨年10月の市議会議員選挙において、5期目の当選とその後臨時議会において、副議長に就任させて頂きました。今後もむつ市議会基本条例の趣旨に基づき、議論する議会、市民に開かれた議会、市民とともに働く議会づくりを目指し、そして、さらなる議員一人ひとりの議員力及び、合議体としての議会力の向上を目指してまいります。



○ 陸奥未来
○ 佐々木隆徳

少子高齢化により、他の地区よりも特に人口減少が進んでいる脇野沢地区の現状を踏まえ、漁業振興はもとより、地域間の格差是正や高齢者にやさしい地域づくり等にこれまでに以上に取り組み、少しでも地域の課題解消に努めてまいります。又、むつ市全体においても人口減少が進んでおり、議員定数の削減にも取り組みます。



○ 市誠クラブ
○ 佐賀英生

市民皆様のお許しを持って、今後4年間、汗をかかせていただく機会を与えてもらいましたので、精一杯頑張らせていただきます。今期は、経済に力を入れ、集中と選択を鮮明に打ち出し進めていきたいと思っております。まずは、旧町村部の掘り起しを軸に市部と連動し、再度むつ市全体の活性化を目指してまいります。



○ 市誠クラブ
○ 大瀧次男

今般の改選で、5期目の当選をさせて頂きました。この間、市民の皆様にお約束を致しました、むつ市活性化に向け、そして皆様の想いを行政に届ける為に誠心誠意働いてまいりました。しかし当市はまだ多くの課題を抱えております。私は市議会議員として永年培った経験をしっかりと活かして、市民の皆様への負託に全力でお応えしてまいります。



○ 自民クラブ
○ 佐々木肇

この度の市議会議員選挙において、12回目の市政に参画出来ました。私はこれまで、思いやりと確かな実行を政治信条とし市議の道を歩み、四十数年の経験を更なる力に替え初心、感謝の気持ちを忘れることなく、第一次産業の振興、子供の学びや特別支援の充実、若者の安住、老後を生きがいと活力ある、地域社会づくりに取り組んでまいります。



○ 自民クラブ
○ 富岡幸夫

これまでの議員活動については、多くのご支援を頂きました。これからは全て、恩返し的人生のつもりで恩送りの精神を大切にしてまいりたいと思います。ご指導頂いた先輩方には何一つ恩返し出来ていませんが、その教えに対し、今後の市政発展、福祉の向上のため、議会運営上で全身全霊尽くしてまいります。よろしくお願いたします。

第 258 回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・同意・採択した議案等】

※『報』→報告、『請』→請願

| 議案 | 議案の名称 | 議決結果 |
|----|------------------------------|------|
| 84 | むつ市部設置条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 85 | むつ市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 | 可決 |
| 86 | むつ市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 88 | むつ市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 89 | むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 90 | 財産の取得について(除雪ドーザ) | 可決 |
| 91 | 指定管理者の指定について(むつ市海と森ふれあい体験館) | 可決 |
| 92 | 指定管理者の指定について(むつ市心身障害者ふれあいの家) | 可決 |
| 93 | 指定管理者の指定について(地方卸売市場大畑町魚市場) | 可決 |
| 94 | 指定管理者の指定について(むつ市奥菜研修景公園外1施設) | 可決 |
| 95 | 指定管理者の指定について(むつ市水川目地区堆肥センター) | 可決 |

| 議案 | 議案の名称 | 議決結果 |
|-----|---|------|
| 96 | むつ市監査委員に選任する者につき同意を求めることについて(浅利竹二郎氏) | 同意 |
| 97 | むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(黒木和之氏) | 同意 |
| 98 | 令和5年度むつ市一般会計補正予算 | 可決 |
| 99 | 令和5年度むつ市介護保険特別会計補正予算 | 可決 |
| 100 | 令和5年度むつ市水道事業会計補正予算 | 可決 |
| 101 | 令和5年度むつ市下水道事業会計補正予算 | 可決 |
| 102 | 令和5年度むつ市一般会計補正予算 | 可決 |
| 103 | 令和5年度むつ市一般会計補正予算 | 可決 |
| 報24 | 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて) | 報告のみ |
| 請1 | むつ市小中学校の学校給食費の無償化実施についての請願 | 採択 |

【賛否が分かれた議案】

| 議案 | 議案の名称 | 議決結果 | 市誠クラブ | | | 公明・自由 | | | 自民クラブ | | | 陸奥未来 | | | 会派に属しない議員 | | | | | | | | | | |
|----|------------------------------------|------|-------|-----|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|-----------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|---|
| | | | 佐賀英生 | 東健而 | 野中貴健 | 大瀧次男 | 佐藤広政 | 住吉年広 | 櫻田秀夫 | 白井二郎 | 中村正志 | 佐々木肇 | 浅利竹二郎 | 井田茂樹 | 富岡幸夫 | 佐々木隆徳 | 岡崎健吾 | 村中浩明 | 富岡直哉 | 高橋征志 | 杉浦弘樹 | 佐藤武 | 工藤祥子 | 濱田栄子 | |
| 87 | むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※議決日は議会最終日の12月21日(ただし、議案第96~98号・102号、報告第24号は12月12日に議決)

※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、議長(富岡幸夫)は採決に加わらない

★なお、各議員の会議への出席状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



議員有志により、令和5年12月3日(日)に開催された「第36回むつ下北地区綱引大会」にむつ市議会綱引クラブとして初出場しました。結果は一般男子5位となりましたが、綱引きを通して多くの参加者をはじめとする関係者の皆様と交流することができました!

編集後記

この度の令和6年能登半島地震により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今年は制限のないお正月を迎え、市民の皆様におかれましては、久々の再会など、数年分の思い出に花を咲かせていることと存じます。

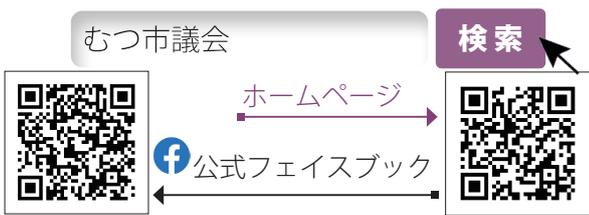
さて、昨年10月の改選に伴い、広報広聴委員会も新たな委員でスタートし、新委員で編集した初の議会だよりの発行となります。

今任期においても、この「議会だよりの」はリニューアルを重ね、より市民の皆様が手に取りやすい「議会だよりの」となるよう委員一同取り組みを進めてまいります。

(富岡 直哉)

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。

また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。



- | | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 富岡 直哉 | 副委員長 | 杉浦 弘樹 |
| 委員 | 櫻田 秀夫 | 委員 | 村中 浩明 |
| | 野中 貴健 | 委員 | 佐藤 広政 |
| | 中村 正志 | 委員 | 井田 茂樹 |